時事新報

第九百七十九號　明治十八年五月廿七日（西暦一千八百八十五年）　水曜日　日曜日休刊

（定價三錢）

驛遞局認可

公報

○海軍省達丙第二十六號

孤島艦及高千穂艦々位二等ト相定ム此旨相達候事

明治十八年五月廿六日　海軍卿　伯爵川村純義

叙任

○明治十八年五月廿五日　陸軍省六等出仕　戸澤光德

任歩兵少佐兼任判事　陸軍省六等出仕　波多野承五郎

時事新報　東京圖書館

經濟法自然ノ運行ハ不景氣ヲ救フニ足ラズ

不景氣ヲ挽回スルノ法ハ大ニ人爲ノ工風ヲ運ラシ金ト勞トヲ惜マズシテ廣ク全國ノ活氣ヲ喚返スカ否ラザレバ自然ニ世界ノ能機ノ運動シテ遂ニ創痍ノ癒ルヲ待ツニ在リ今日本全國ノ不景氣ヲ救ハントシテ人爲ノ工風ヲ運ラセバ必ズ大ニ金ト勞トヲ要スベクコハ今ノ日本國幾ノ迚モ企テ及ブ所ニアラズトテ不本意ナガラモ時運ノ自然ニ回リ來ルヲ待グノトスルカ是亦不景氣ニ處スルノ一策トシテ其今日ニ適否如何ヲ論スルモ決シテ無用ナラザルベシ

十二分ニ膨脹シタル流通紙幣忽チニ收縮シテ物品ト通用貨幣ト相對スル釣合ヒヲ變シ物價下落シ幣價騰貴シ一時全國ノ農工商業者ハ一人トシテ損毛ヲ被ラザル者ナシ遂ニ於テカ各業ハ廢タレ信用ハ地ヲ拂ヒ職工ノ賃錢ハ何程下落スルモ置ク人ナク遂ニ純然タル不景氣ノ相現ヲ成シタリ然ルニ經濟ノ法則ニ於テ世界ノ中有無相通スルノ法ハ水ノ卑キニ就テ平準ヲ求ムルト等シク此處ト彼處ト商路既ニ相通スル以上ハ此處ノ物價ヲ騰シタルトキハ彼處ノ物價ヲ賤クシ長ク其平準ヲ得ザラシメントスルモ能スベキニアラズ故ニ今其ノ一國ニ於テ物價下落スルトアレバ其物品ノ需用廣ク世界ニ起リ輸出忽チニ增加シテ商況忽チニ繁劇ノ實ヲ呈シ金銀國内ニ流入シ來ルベシ此ニ物價ノ下落極クニ回復シ農工商社會遂ニ一百ノ繁榮ヲ開クコトナキニ至ルベシ遲即チ經濟法ノ働キニ依頼シテ自然ニ不景氣ノ回復スルヲ待ツノ法ニシテ此働キノ遲速幷ニ其効力ノ大小ハ其國文明ノ度ノ高下ニ由リテ當ク相違アルモノト知ルベシ

今日本全國不景氣ノ甚タシキ工錢物價共ニ大ニ下落シテ尚本來タ需用者ノ現出スルヲ見ズ物價土ニ等シクシテ小民餓死ニ瀕スルモノ全國到ル處トシテ皆然ラザルハナシ物價ノ斯ノ如ク下落スル以上ハ高値ノ產物悉ク其需用ヲ世界ノ市場ニ見出シ商路大ニ開ケ輸出貿易大ニ加ハリ全國ノ農工ハ物品ノ生產ニ忙ハシク全國ノ商人ハ物品ノ輸出輸貿ニ忙ハシク物價騰貴金融繁忙忽チ今ノ不景氣ヲ忘ルベキガ如シト雖ドモ今日未タ其事ナキノミナラズ今後ト雖ドモ我輩ハ尚分ニモ今ノ不景氣ヲ救フニ自然經濟上ノ作用ニノミ依賴シテ十分ナリトスルヲ能ハザルナリ何トナレバ今ノ日本ニ於テハ此自然法ノ運行ヲ妨ルノ原由二個アリテ此法ノ効力殆ント絶無ニ屬シ救急ノ用ヲ爲スヲ能ハザル恐アレバナリ其次第左ノ如シ

第一國内ニ運輸ノ便乏シ　日本ノ海上ニハ三菱共同ノ二會社アリテ數十ノ汽船沿海ヲ航行シ海ノ運輸ハ近來大ニ其面目ヲ改メタリト雖ドモ一タビ陸ニ上レバ其交通ノ不便ナル我文明ノ度ニ比シテ未タ其釣合ヒヲ得ズ數十里ノ鉄道ト數十艘ノ川蒸氣船ト二三街道ノ旅客馬車ト又人ノ力ニテ挽シ最小形ノ車即チ人力車ト唱フルモノ、數多往來スルアル外ハ陸ノ運輸ハ依然タル東洋未開國ノ舊面目ヲ存シ人肩馬背ヲ以テ普通ノ運輸具ト爲シテコレニ安心スルモノ、如シ故ニ今日此大不景氣ニ際シ都會ヲ距ル數里或ハ數十里ノ地ニ於テハ炭薪魚鹽ノ日用品ヨリ種々工藝ノ製造品ニ至ルマデ又此日用品ヲ生產スル人夫ノ手間ヨリ諸工藝品ヲ製造スル職工ノ工錢ニ至ルマデ非常ノ廉價ニシテ其供給モ亦タ甚ダ豐カナレドモコレヲ都會ノ市場ニ輸シテ善キ價ヲ求ムルノ工風ヲ得ズ地方ノ人力車賃ハ一里二錢三錢ヲ普通ノ相場トシ都會ニ最モ近接ナル東海道中ニテモ一里四錢ヲ超ルハ甚ダ稀レナリ何ゾ此人力車ヲ東京ニ輸入シテ一里八九錢乃至十一二錢ノ相場ト競爭セザル、地方ニテ人夫一日ノ働キハ携帶持參ニテ十錢ノ賃錢ヲ得ルヲ甚ダ難ク大工左官ノ工錢ト雖ドモ二十錢ヲ超ルモノハ實ニ少ナシ何ゾ此勞力藝能ヲ東京ニ輸入シテ人夫一日三十錢内外大工左官一日五六十錢ノ相場ト競爭セザル、地方炭薪ノ價ノ廉ナル木ヲ伐リ又コレヲ炭ニ燒ク手間賃ニ當タル位ノモノニシテ其元質タル材木ノ價ハ皆無タル可シ勘定ナリ何ゾ此炭薪ヲ東京ニ輸入シテ一俵ヲ賣ハサヘル此等ノ例證ヲ細カニ吟味スレバ到底枚擧ニ遑アラザルナリ都會ト田舍ト斯クモ塞隔人輪遠アルハ抑モ何故ゾヤ交通甚タ不便ニシテ運賃甚タ高ク全國各處ノ需用供給ヲ通シテ同一ノ平準ニ近寄ラシムルノ工風ナケレバナリ蓋シ水ハ器ノ大小方圓ヲ問ハズ必ズ其平準ヲ求ムルノ法ナレバ若シ水ノ中央ニ隔壁ヲ設ケテ左右二體ニ分ツニ方テハ二體ノ水ハ同一ノ平準ニ居ルヿ能ハザルナリ故ニ山林水落ニ何樣ノ廉價品アレドトモ都會ノ市場ト商路往來ノ便ヲ十分ナラザルニ於テハ廣ク世界ノ需用ヲ利シテ善キ價ヲ求ムルノ方便ナカルベキナリ今各地方ノ物價及ビ工錢ノ低價ナルハ疑フベクモアラズ然レドモ此物品職工ヲ東京大坂等ノ市場ニ持ナ來ルサヘ尚ホ甚タ困難ニシテ現ニ田舍ト都會トノ物價工錢ニハ甚ダシキ相違アルヲ承知シナガラ何分ニモ其平均ヲ得セシムルノ工風ナク目前東京大坂ノ市場ニサヘ集來スル能ハザル此ノ廉價品ヲ驅ヲ爭テ海外萬里ノ大市場ニ侵入セシムベキ望ミアルベキヤ故ニ果シテ今全國生產貿買ノ各業ヲ挽回セント欲セバ先ヅ此ノ廉價品ヲシテ東京大坂等ノ市場ニ溢レシムベシ東京大坂等ノ市場先ヅ溢レテ然ル後ニ漸クコレヲ海外ニ疏通シテ世界平準ノ善キ價ヲ得セシムルノ工風モアルベキナリ

（未完）

雜報

○重罪裁判長　判事福本源之助氏は去る廿一日東京控訴裁判所ニ於テ第二期前橋重罪裁判長ヲ命セられたり

○博覽會事務官　農商務省御用掛中村貞吉氏は一昨廿五日同省に於て英國倫敦博覽會事務官仰付られたり

○歸朝の報　曩に英國スコットランド エジンボルグ市山林博覽會ニ出張せし武井農商務大書記官は去る廿日本國乘海軍艦師の便船に搭して昨朝の海ニ着ちたりもいふ

○孤遠高千穂艦隊　英國アームストロング製造所に於て新造したる軍艦孤遠、高千穂の兩號は艦位二等と定まり昨日海軍卿より海軍一般へ達ったり

○諮問　今度西郷農商務卿より目下各地農商正鵠上非常に衰運ニ陷りたる實況如何と東京商工會へ諮問したりといへり

○商工會議所の設立　兵庫縣下兵庫の有志者は先頃より一の商工會議所を設立せんと頻に奔走中なりしが愈々協議も整ひたるもへ昨今其組織ニ就て准備し居ると云

○福山景況　五月廿二日發備後福山通信員特報　當地は人口一萬五千餘ありて商賈活潑あらざるも是亦國中の小都會あり中央に入江と疏して舟楫の便を開き木綿及び米麥の產出を以て金融と流通せしむる土地柄なるが近來の不景氣に加へて引續きての不作より大に土地の衰頽と來し目下實に慘狀を極め居り候其二三を擧ぐれい當所西町と申所は元と士族の屋敷地なるが積く不仕合にて今は麥田と變玄近在にて商涯と申す三箇村へい去年の海嘯に一旦悉く海となり此他損害少なからにても貢租ニ足るり足らざるかれ收穫あれば人民ど一層の困難を極め麥糠或い草の芽を食して生ど送るもの多ければ散玄て乞食となるものもあり斯かる始末ゆゑ商家も亦愛心する時なく店と張りながら座食の体にて其日ど送り夜い點火そるものなく試ニ夜に入りて市中と徘徊せば滿街殆んど無人の境と行くに齊しく之ニ反して晝ど毎戶乞食の市をあし其醜体見るニ忍び走哀れといふも氣れ毒あり○入江ど近來繁盛ざ漫くなり酒舟も往來ニ困る程れ賑ニ尤も入江後援會社とう申すものあるよしあれバいづれ浚渫をるみともあらんあらまはしき事なり○當地にい電信分局の設あく何角に付け不便利なるが是れも二三年の內立つといふ噂あり又神道大に流行し人々座食するよりか神道の說教にても聽聞せんどて續々出懸けるもの多く常に說教者を他地方より聘ゑく是れが盡瘁に盡力ニ目下改宗するもの頗る夥し昨日も右說教者は佛教ど攻擊するとか僧侶と討論するとにて當地八幡社境內に聽聞者れ會するもの無慮二萬人盛なりといふべ云々

○函館通信　五月十五日函館發本社通信員特報　昨年來佛清事件惹起り續て朝鮮ハ騷亂支那の談判と推移り所謂天下多事ありし故新聞紙面は記事充溢せ云故北海道の通信は此の如く貴重なる餘白と汚すニ足らずと信し差し扣へたれとも右等の事件い追々と當地の積雪と共ニ氷解して寒を留めさる程あれば徐々に當方の事情ど書き送ると雀の如し○當地は恰も晝節と以て春色漸かなるれ時なりとす四山ハ漢樹には猶殘雪ど見るも有名ある臥牛山麓の公園地を初とし招魂社內より諸處の山莊別墅等到る處梅櫻桃梨一時ニ芳を誇ち蕾ど破り實ニ長閑の景客にい奇異ど觀をあせり余は本年四月下旬に東京ど去りしときは櫻花い恰も散り果てたるとあり しも當地にて梅の未ニ開かざると以て見れば如何にも氣候の後ゝと知るべし爲り百花草木のみならず人間の機巧も斯の如く東京より後れ居るとならん○圓話休題此に最も肝要なる通信ニして讀者も知らんとて希望する所い北海道各地の演藝の形況あるべし元來各地よりの報道に每年大抵ニ云ふと多きも其實大抵あふさるとも有り本年の如きも頗りに衰微と云へども過日某商社の社員あして上場所と小樽港實地巡回せし人の噺す所と聞くニ吉岡、岡山ハ去た海嘯あして江刺より乙部鮑石の方は可ありに復旧あり海鼠鳥鮫等は中にしく歌案い十分あり是內は未た少きも古字見聞い大能な

○○○北京師記（前號の續）

○○○乞食の群衆　北京ニて王侯に貴重國將ハ徒亦少からず程にて一且い騾や輦先の恐彼の乞食のとと思出し、丈け簡單ニこれと記すべしには例の乞食、車れ前後に巳ニすろれ身形は衣服麻備は無ニ足は徒跣にて手には丐これに火を點し火繩の代りの穴七本と持ニ之と客に勸なる男子、老婦裏頭したる婦位の兒女市街の兩側に立ち凡と幾何なるべきや北京のとなるとなんぶ且つこの乞

第一國內ニ運輸ノ便乏シ　日本ノ海上ニハ三菱共同ノ二會社アリテ數十ノ汽船沿海ヲ航行シ海ノ運輸ハ近來大ニ其面目ヲ改メタリト雖ドモ一タビ陸ニ上レバ其交通ノ不便ナル我文明ノ度ニ比シテ未タ其釣合ヒヲ得ズ數十里ノ鉄道ト數十艘ノ川蒸氣船ト二三街道ノ旅客馬車ト又人ノ力ニテ挽シ最小形ノ車即チ人力車ト唱フルモノ、數多往來スルアル外ハ陸ノ運輸ハ依然タル東洋未開國ノ舊面目ヲ存シ人肩馬背ヲ以テ普通ノ運輸具ト爲シテコレニ安心スルモノ、如シ故ニ今日此大不景氣ニ際シ都會ヲ距ル數里或ハ數十里ノ地ニ於テハ炭薪魚鹽ノ日用品ヨリ種々工藝ノ製造品ニ至ルマデ又此日用品ヲ生產スル人夫ノ手間ヨリ諸工藝品ヲ製造スル職工ノ工錢ニ至ルマデ非常ノ廉價ニシテ其供給モ亦タ甚ダ豐カナレドモコレヲ都會ノ市場ニ輸シテ善キ價ヲ求ムルノ工風ヲ得ズ地方ノ人力車賃ハ一里二錢三錢ヲ普通ノ相場トシ都會ニ最モ近接ナル東海道中ニテモ一里四錢ヲ超ルハ甚ダ稀レナリ何ゾ此人力車ヲ東京ニ輸入シテ一里八九錢乃至十一二錢ノ相場ト競爭セザル、地方ニテ人夫一日ノ働キハ携帶持參ニテ十錢ノ賃錢ヲ得ルヲ甚ダ難ク大工左官ノ工錢ト雖ドモ二十錢ヲ超ルモノハ實ニ少ナシ何ゾ此勞力藝能ヲ東京ニ輸入シテ人夫一日三十錢内外大工左官一日五六十錢ノ相場ト競爭セザル、地方炭薪ノ價ノ廉ナル木ヲ伐リ又コレヲ炭ニ燒ク手間賃ニ當タル位ノモノニシテ其元質タル材木ノ價ハ皆無タル可シ勘定ナリ何ゾ此炭薪ヲ東京ニ輸入シテ一俵ヲ賣ハサヘル此等ノ例證ヲ細カニ吟味スレバ到底枚擧ニ遑アラザルナリ都會ト田舍ト斯クモ塞隔人輪遠アルハ抑モ何故ゾヤ交通甚タ不便ニシテ運賃甚タ高ク全國各處ノ需用供給ヲ通シテ同一ノ平準ニ近寄ラシムルノ工風ナケレバナリ蓋シ水ハ器ノ大小方圓ヲ問ハズ必ズ其平準ヲ求ムルノ法ナレバ若シ水ノ中央ニ隔壁ヲ設ケテ左右二體ニ分ツニ方テハ二體ノ水ハ同一ノ平準ニ居ルヿ能ハザルナリ故ニ山林水落ニ何樣ノ廉價品アレドトモ都會ノ市場ト商路往來ノ便ヲ十分ナラザルニ於テハ廣ク世界ノ需用ヲ利シテ善キ價ヲ求ムルノ方便ナカルベキナリ今各地方ノ物價及ビ工錢ノ低價ナルハ疑フベクモアラズ然レドモ此物品職工ヲ東京大坂等ノ市場ニ持ナ來ルサヘ尚ホ甚タ困難ニシテ現ニ田舍ト都會トノ物價工錢ニハ甚ダシキ相違アルヲ承知シナガラ何分ニモ其平均ヲ得セシムルノ工風ナク目前東京大坂ノ市場ニサヘ集來スル能ハザル此ノ廉價品ヲ驅ヲ爭テ海外萬里ノ大市場ニ侵入セシムベキ望ミアルベキヤ故ニ果シテ今全國生產貿買ノ各業ヲ挽回セント欲セバ先ヅ此ノ廉價品ヲシテ東京大坂等ノ市場ニ溢レシムベシ東京大坂等ノ市場先ヅ溢レテ然ル後ニ漸クコレヲ海外ニ疏通シテ世界平準ノ善キ價ヲ得セシムルノ工風モアルベキナリ

○札幌通信　五月十九日札幌ハ石狩國ニ中央に位し其分派なる創成、豐振の二郡一萬四千二百餘人、戶數は縣廳、郡役所、警察署、監獄、鎮台兵事務局其他農商務省所管炭山鉄道事務局出張所なり余南、古平に通するものに通するの二線あり郵便分毎日の差立あり鐵道は北向秋は三季は日々三回蒸汽車車のみなり冬季は每日一回は積雪の爲め通せず當地近て平常は鹽國形の馬車と用の運搬をなせり○本縣下ふ口ある場所ハは戶長役場と○諸物價ど函館、小樽に比り市中各商店通常用品は略ふるとなければど上等品は省輸入ありと云ふ特に西洋小と感せり○當地の人民は有者多數なりしが現今は越前概ね此の越前より來りたる場い蚤々事業と擴張する傾室一樓い其產額貴二萬餘圓